

令和4年10月31日  
(2022年)

保護者の皆さまへ

吹田市立南山田小学校  
校長 江下 毅

## 令和4年度 全国学力・学習状況調査結果の分析について

本年4月、6年生を対象として「令和4年度 全国学力・学習状況調査」を実施し、9月中旬には個人ごとに結果をお返ししました。また吹田市でも、今回実施した調査結果の概要を吹田市のホームページを通じて公表しております。

### 『令和4年度 全国学力・学習状況調査』とは・・・

#### ① 教科に関する調査(国語・算数・理科)

・三教科において、以下の(ア)(イ)を一体的に出題。

(ア)身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など

(イ)知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容

#### ②生活習慣や学習環境等に関する調査(質問紙調査)

・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関するアンケート調査です。

本調査は小学校最終学年のみを対象とした調査であり、教科も国語、算数と理科に限られ、測定されたものは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことを先ず踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に取り組むことが調査本来のねらいであると考えます。

学校としましては、調査結果を客観的且つ組織的に分析することにより、どのような指導がより効果的であるかをしっかりと見極め、学校全体あるいは小・中学校における連続した取組みとなるよう、具体的な指導方法の工夫改善を図ってまいります。

ご家庭におかれましても、以下の分析結果を今後の家庭学習の指針としてご理解のうえ、参考にしていただきますようお願いいたします。

### I. 教科に関する調査

#### 概要

**国語** ◎平均正答率が全国値を上回っています



**算数** ◎平均正答率が全国値を上回っています



**理科** ◎平均正答率が全国値を上回っています



◎各領域等の分析により、成果と課題、今後の改善策をまとめました。

## 成果と課題、今後の改善策

### 国語

#### 成果

約8割の問題で全国平均を上回っています。

《書くこと》

話し言葉と書き言葉の理解は、一定の定着が見られます

《話すこと・聞くこと》

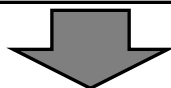
また、話す・聞くことにおいては、話の中心を捉えながら、話したり、聞くことができます。

#### 課題

全国の平均値を下回っている問題

《書くこと》

- ・文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける力問題
- ・相手意識も持って表現するには、構成の工夫や表現の工夫が大切になってくると思
- ・互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめる力を問う問題



#### 改善策

《書くこと》

- ・相手意識を持って伝える力・書く力は、説明文の学習において、「はじめ・中・終わり」を読み取ること、筆者の工夫を読み取ることが大切になってきます。書く力を高めるために、まずは読む力を伸ばしていく学習活動を大切にしていきます。
- ・読み取った構成や工夫をもとに書く活動を位置付けて学習をすすめていきます。
- ・6年間を見通した書く力を系統性持って、指導できるように、校内での研究を進めていきます。
- ・作文指導や日記指導などの書き慣れの時間を設定していきます。

#### 成果

約7割強の問題で平均正答率が全国値を上回っています。

記述式の4問中3問において、無解答率が全国値を下回っています。普段の授業で自分の考えや振り返りを書く取り組みを継続してきたことが、記述問題に強い傾向を示す結果につながっていると考えています。

#### 課題

全国の平均値を下回っている問題

- ・かけられる数に0を含むかけ算の問題
- ・百分率で表された割合を分数で表す問題
- ・図形を構成する要素に着目して、長方形の意味や性質、構成の仕方についての理解を問う問題
- ・示された作図の手順を基に、図形を構成する要素に着目し、平行四辺形であることを判断できることを図る問題

### 算数

# 算数

## 改善策

### 基礎基本について

ドリル、プリント、タブレットの問題などを活用し反復練習に取り組みます。また、様々な問題を解く際に、操作だけでなく問題の意図が理解できるようにしていきます。そのために、線分図やシェーマ図など目的に応じた図や表などが活用できることやわかりやすい数字・言葉などに置き換えて考えるなど、決められた条件を選び出し、求め方を自分で考えや理由を説明する機会を授業の中で積極的に設けます。

### 日常生活と関連付ける

どのような問題も単に算数の問題を解くというのではなく、日常生活の中の具体的な場面に対応させながら数の処理や割合などを理解したり表したりすることができるような取り組みをします。

単元のまとめなどで様々な活用問題を取り入れ、まず「やってみよう」という気持ちを大事にしながらかき方を学んでいく授業づくりをしていきます。

### 平素の授業の中で

図形問題では、構成要素に着目し、図形の意味を理解したり、図形の性質を確かめたりすることができる力が必要となってきます。そのためには、様々な要素を発展的に考察できるようにしていきます。

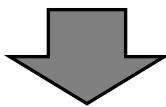
## 成果

8割以上の問題で正答率が全国平均を上回っています。また3問の記述式の問題でも全て正答率は全国平均を上回っています。授業内で実験の結果をまとめたり、単元の終わりにまとめを作成したりすることで、自分自身の知識や考えを文章にして表現する力は一定程度身につけていると考えられます。

## 課題

### 全国の平均値を下回っている問題

- ・ 光の性質を基に鏡を操作して、的に光を当てる問題
- ・ 昆虫について調べた結果をまとめた表から「気づいたこと」を基に、「問題」を見出す問題



## 改善策

- ・ 基本的な知識・技能はもとより、その基盤となる体験的活動の充実が求められる
- ・ 実験・観察を行ったものを基に、自分の結果と他者の結果を比較し、お互いの共通点や差異点を見出し、共有する
- ・ 結果を自分で表やグラフでまとめて表現する

# 理科

## Ⅱ. 学習意欲や学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査の傾向

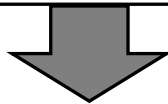
学習環境・生活環境について

### 成果

- ・「自分にはよいところがある」「自分でやると決めたことはやり遂げるようにしていますか」の項目で全国値よりも上回っています。
- ・「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している」という項目で、全国値よりも上回っています。

### 課題

- ・「学校へ行くのは楽しい」「将来の夢や目標を持っていますか」という項目で全国値を下回っています。



### 改善策

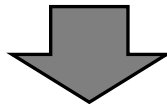
- ・授業の中で、職業の就き方や必要な資格などを学習する機会を設けることや、学級で取り組みたい目標を継続的に振り返るようにし、意欲的に取り組むことができる学級づくりに取り組みます。

### 成果

- ・「各教科で学んだことを生かし、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っている」と答えた児童の数は全国値を上回っています。
- ・「理科の勉強は好きですか」と答えた児童の数は全国値を上回っています。

### 課題

- ・「国語の授業の内容がよくわかる」の項目で全国値を下回っています。
- ・「算数が好き」の項目で全国値を下回っています。



### 改善策

- ・国語科を通して、単元ごとに達成したい目標を明確にし、そのために必要な文章を読み取る方法を学習することや、考える楽しさやわかる楽しさを味わう授業づくりに取り組みます。
- ・算数の課題に正答していく楽しさや内容がわかる楽しさにつながるように、様々な解放を授業内で紹介したり、まずは易しい課題から徐々に難易度を上げて発展問題を解く力の育成に取り組みます。

教科・学習について

### Ⅲ. 南山田小学校として、今後、取り組んでいきたいこと

学校教育目標

心を磨き、志を育む ～その根を培う～

#### ④ 自ら学び考える 【意欲的・主体的に学ぶ子ども】

自分の考えや思いを実現できる場面を、授業や学校生活において設定する。また、疑問に感じる場面設定を行い、調べたい、試したいという「学びに向かう力」を発揮し、施行錯誤する姿を積極的に評価し、あきらめず繰り返し挑戦できる子どもを目指します。

#### ⑤ なかまを思いやる 【違いを認め合い、豊かな人間関係を築く子ども】

学級の友だちと、話し合い活動を通して、自分の考えを伝え合うことができている。今後は、自分の考えを深めたり広げたりするとともに、さらに、自分とは異なる意見に対して考え、議論する機会を積極的に設け、違いを豊かにする授業・学級づくりを行います。

#### ⑥ 自分を大切にする 【自尊感情と豊かな感性を持ち、たくましく生きる子ども】

#### ⑦ こころ豊かなみな小っこ 【進んで協力し、実行力のある子ども】

「自分には良いところがある」と実感を持てるよう、授業だけでなく家庭も含めての日常生活の中で、自己有用感を感じ、他者との間で「自分が価値ある存在である」と実感できるような機会を、授業や様々な活動に位置付ける。



研究主題

すすんで自分の思いや考えを表現する子の育成

南山田小学校では、上記のような研究主題を設定し、国語科の物語文や説明文を中心に研究を進めています。昨年度まで3年間「考えを伝えあい、紡ぎあって練り上げることができる子どもの育成」を目指し、物語文を中心に研究をしてきました。研究を通して子どもたちは、「子どもたち同士で、考えや意見を伝え合い自分の考えと比較することや交流を通して納得策を見つける」ことを学びました。前回の学力テストの学習環境・生活環境のアンケートの「自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか」という項目では、全国値を上回ることができました。3年間の取り組みの中で、教師指導の授業ではなく、子どもたち同士がつながり、主体的・対話的に学べる授業づくりが意識できた一つの成果であると考えます。さらに、「読むこと」の構成を捉える問題でも、全国値を上回ることができました。3年間の国語科を軸においた研究が子どもたちの読む力へ結びついたらと考えます。

一方で、書くことにおいては、課題が残る結果となっています。主に、自分の考えを工夫して「表現する力」です。国語の単元の中で、読んだことを他者に伝えるための言語活動を設定すること。また、「読む→書く」を意識した単元構成の工夫が必要になってくると考えます。

そこで、今年度の研究は、国語科という教科を中心に「すすんで自分の思いや考えを表現する子の育成」を主題に設定し、国語科の物語文や説明文を中心に「書く力と読む力をつける授業づくり」の研究を3年間継続して進めていきます。勿論、国語だけではなく、自分の考えや意見を工夫して伝える力、表現する力を子どもたちに身につけさせるために、日々の様々な学習活動を通し授業改善を行っていきます。

#### ★ご家庭にご協力いただきたいこと ★

今回の調査で、就寝・起床時刻を守ったり朝食を毎日しっかりと食べたりの規則正しい生活については、ご家庭で意識していただいていることがわかりました。今後も引き続き、子どもたちが落ち着いた生活を送るために、基本的な生活習慣について、ご協力よろしくお願いします。

また、家族でいろいろなことを話題に会話をたくさんしていただきたいです。例えば、学校で学習してきた内容に対し、「それはどんな内容だった？」と尋ね、説明してもらうことや、「そこでどんなことわかった？」など聞いてもらうことすることも、子どもの思考力を高めることにつながっていきます。そして、地域の行事等に参加して、たくさんの人と触れ合う機会をもっていただけたらと思います。